



見守る目・育む芽 51

山形県青少年育成県民会議の活動についてご理解とご協力をお願いします。

4月 FM山形 「キッズガードキャンペーン」への協賛

毎年4月から5月に行われているエフエム山形の「RhythmStationキッズガードキャンペーン」に今年も協賛し、県内小学校新入学児童全員への「あんぜん・あんしんガイドブック」の配布を支援しました。また、番組内のキャンペーン啓発スポット放送では、「こどもたちは地域の宝。『どうしたの?』周囲の皆さんのそのひと声が事件を未然に防ぐ助けとなります。山形県青少年育成県民会議は、地域のこどもたちを見守ります。」などと放送されました。



5月 令和6年度 山形県青少年育成県民会議総会

5月30日(木)、県庁講堂にて総会を開催しました。約350名が参加する中、新会長に柿崎則夫氏が選任され、その後、令和6年度の活動方針、事業計画について協議し、議案はすべて原案どおり承認されました。

令和6年度活動の重点事項

- ①いじめ・非行防止に係る取り組みの一層の推進
- ②地域の実践活動の強化、促進
- ③青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進



7月 令和6年度 「明るいやまがた、夏の安全県民運動出発式

7月22日(月)の運動期間初日、県庁講堂にて出発式を行いました。青少年健全育成や交通安全などに取り組むこの運動は、8月21日(水)までの1か月間展開。知事の挨拶や小学生、高校生、運動実践者の「安全宣言」の後、パトロール車列を見送りました。出発式を皮切りに、期間中、県内各地域において様々な取り組みが実施されました。



9月 第63回 山形県少年の主張大会

9月21日(土)、山形国際交流プラザにて県大会を開催しました。中学生が自らの体験を通して日頃抱いている思いや意見を発表する主張大会。県大会には地区大会、ブロック大会を勝ち抜いた15名が出場しました。様々なテーマで主張がくり広げられ、どの主張も心に響く、素敵な発表でした。

審査の結果、「障害を乗り越えて」と題して発表した井上愛奈さんが最優秀に選ばれました。(3ページにインタビュー記事掲載)



目次

- P1 “いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動
- P2 いじめ・非行防止セミナー／山形県青少年健全育成県民大会
- P3 発表者インタビュー／2024輝く県民活躍大賞／インターネットの安全利用について
- P4 お知らせ

いじめ・非行をなくそう やまがた県民運動

運動の基本方針

- 学校、家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会づくりを進めていこう。
- いじめを受けて悩んでいる子どもたちが相談しやすい環境をつくっていこう。

みんなで取り組んで
いじめ・非行をなくそう!!

運動の内容

- あいさつ・見守り運動
- モラル・マナーの向上運動
- 子どもを事故や犯罪等から守る運動

「子どもは社会を映す鏡」
大人が良い手本になろう。



大人が変われば 子どもも変わる

令和6年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取り組み

児童・生徒の取り組みとして、特別支援学校を含む小・中学生に「いじめ防止」標語を、高校生にポスターデザインを募集しました。標語は322校から51,340件の応募があり、今年度は下記4作品が各地区最優秀標語に選ばれました。また、ポスターデザインも昨年度を上回る応募の中から、山形県立山形中央高等学校1年野村咲景さんの作品が最優秀作品となりました。今年も最優秀のポスターデザインに、最優秀標語を掲載した県民運動ポスターを作成し、配布しました。各学校や関係機関に掲示してもらい、「いじめ・非行をなくそう」という意識の醸成を図るとともに、県民運動の輪を広げていきます。

“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民 運動ポスター

最優秀 ポスターデザイン

いじめで悩んでいる子たちに、
“ここが世界のすべてじゃない、
と希望を与えられるデザイン
にしました。

山形県立山形中央高等学校
1年 野村咲景さん



最優秀標語

- 村山地区**
いやなこと しない いわない ゆるさない
村山市立楯岡小学校 1年 清水晴仁さん
- 最上地区**
その気持ち いつかじゃなく 今助ける
最上町立最上中学校 1年 千葉琉真さん
- 置賜地区**
きっとある 優しい心 誰にでも
高畠町立高畠中学校 3年 内山千咲登さん
- 庄内地区**
「それいいね!」
ともだちよいとこ つたえよう
県立鶴岡養護学校 小学部5年 青木まこさん

山形県青少年育成県民会議入会のお願い

当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を展開しています。活動や趣旨にご賛同、ご協力いただける新規会員の方を募集しております。 ☆令和6年10月末の会員数(1,228名)

【特別会員】

(一社)山形県建設業協会、
㈱グローバルマシーン、全国
共済農業協同組合連合会山形
県本部、全国農業協同組合連
合会山形県本部、高橋畜産食
肉㈱、出羽三山神社、山形放
送㈱(敬称省略・50音順)

【賛助会員】 ※今回掲載できなかった賛助会員の方は次号に掲載いたします。

阿星嘉彦、石澤義久、(一財)三友堂病院、(一社)山形県経営者協会、伊藤康則、f(山形テレビ)、遠藤商事㈱、大井建設㈱、小形アカデミーホーム㈱、置賜建設㈱、(学)羽陽学園、(株)天野左官、(株)エイアンドシー、(株)エフエム山形、(株)エルム、(株)王祇建設、(株)大風印刷、(株)オランダ、(株)加藤紙器、(株)さらやか銀行、(株)黒田組、(株)三幸ソーイング、(株)主婦の店鶴岡店、(株)荘内銀行、(株)菅原工務所、(株)テレビユー山形、(株)ト一屋、(株)トガシス、(株)ナウエル、(株)ニコ二白鷹、(株)平尾工務店、(株)平山孫兵衛商店、(株)マル中、(株)丸定、(株)三奥屋、(株)山形銀行、(株)山口製作所、(株)ヤマコー、(株)ヤマザワ、(株)山本製作所、(株)渡会電気土木、(株)国井建設、(公社)山形県看護協会、齋藤千恵子、最北地区少年指導員連絡協議会、蔵王米菓㈱、坂部印刷㈱、佐藤登美子税理士事務所、(福)白鷹会愛真こども園 (敬称省略・50音順)

問合せ 申込み先

山形県青少年育成県民会議事務局 (多様性・女性若者活躍課内)
TEL: 023-630-2727
FAX: 023-632-8238

☆会員の種類と年会費

- ・特別会員(103万円)・賛助会員(105千円)
- ・団体会員(101千円)・個人会員(101千円)

活動の内容などは
こちらから▶
会員申込は
[メニュー]
「会員募集」の申込
フォームから



いじめ・非行防止セミナー

少年の主張 「障害を乗り越えて」

白鷹町立白鷹中学校 3年 井上 愛奈さん



第63回山形県少年の主張大会で最優秀を受賞した井上愛奈さんが、自身の経験を通して得られた気づきについて発表しました。先天性難聴障害を抱える井上さんは、中学進学とともに剣道部へ入部。周囲から心配の声もあったといいます。剣道をやりたいという「今この気持ちを大切にしたい」との思いからのスタートでした。そして挑んだ今年の大会で、井上さんは見事優勝。共に部活動に励む仲間や指導者、家族のサポートに感謝しながら、それに応えるために「勇気を出して挑戦しつづけること」を誓いました。

記念講演 「でっかい子育て人育て」

有限会社クロフネカンパニー 代表取締役社長 中村 文昭氏

年間300回以上の講演をこなし、またこれまで900名以上の引きこもりの少年たちと関わってきた中村氏は、その経験から、子どもたちが主体的に考え行動できる環境を提供することの大切さを強調します。「何のために」生まれたのか、「何のために」生きているのか。人生は何をやるのかではなく、「何のために」やるかが大切だと講演いただきました。

情熱のこもった話し振りに惹きつけられ、時おり挟まれるユーモアでは、会場の隅々まで和やかな雰囲気になりました。講演の後には活発な質疑応答が交わされるなど、参加者ひとり一人の胸に火を灯すひと時となりました。



事例発表 「子どものウェルビーイングを求めて」

特定非営利活動法人クリエイティブがしね 理事 三浦 通夫氏

三浦氏は東根市子どもの遊び場（ひがしねあそびあランド）の運営を通して得た、健全育成についての知見を発表。NPO法人クリエイティブがしねは「未来を担う人づくり」を理念に掲げ、遊びによって非認知能力（主体性、創造力、集中力）を育む「遊育（ゆういく）」と、共同養育の精神で社会変革によって生じた子育て環境の歪み解消を図る「共育（ともいく）」を推進しています。

全ての人に社会的なつながりを提供する場所と機会をつくり、安心して子育てに取り組める社会を実現するため、今後いっそうの推進に向けた決意を述べ、三浦氏は発表を締めくくりました。



11月、北海道・東北ブロック代表として第46回少年の主張全国大会で発表し、審査委員会委員長賞を受賞しました！



白鷹町立白鷹中学校 3年 井上 愛奈さん

少年の主張発表



特定非営利活動法人クリエイティブがしね 理事 三浦 通夫氏

事例発表

発表者インタビュー

Q どんな気持ちでこの主張に臨みましたか。

聴覚に障害のある私が剣道をやりたいと言った時、周りの人にはたくさん心配されました。厳しくて諦めかけたこともありましたが、コーチの指示が聞こえない私に手本をやってみせてくれた仲間や、「最後まで頑張ろう！」と励ましてくれた指導者の方々や家族のおかげで、私は剣道をやり通すことができました。最後の大会の個人戦で優勝できたことで、挑戦する勇気を持つことの大切さを実感して、それを多くの人に伝えたいと思いました。

県大会当日はたくさんの方の前で発表することに緊張しましたが、うなずきながらだったり、身を乗り出したりして聞いてくださる方がいて、自信を持って発表することができました。これからも挑戦することを大切にしてい、私を支えてくれたたくさんの方に勇気を届けられるような人になりたいと思います。

Q 剣道の他には、どんなことに打ち込んでいますか。

最近レジン（樹脂）を使ったアクセサリーづくりが楽しくて、たくさん作っています。それと、絵を描くことも小さな頃から好きです。私がやりたいことを全力で応援してくれる母にはいつも感謝しています。

第63回山形県少年の主張大会での発表はこちらから



Q 活動の特色や活動を通して感じていることを教えてください。

NPO法人クリエイティブがしねでは、「未来を担う人づくり」を理念に掲げ、子どもや若者の健全育成のために事業を展開しています。その柱となるのが、遊びを通して主体性や創造力、自己肯定感といった非認知能力を育む「遊育」と、親子や地域の人々が関わりをもつことで共に学び合い、育ち合えるという「共育」です。

活動を通して、遊びの大切さを認識し、子どもの遊びを温かいまなざしで見守る大人が地域に増えてきました。また、来園した親子同士が親しく交流する姿が多く見られるようになってきています。

私たち大人の役目は、子どもや若者に対し「心身ともに良好で満たされている状態・環境（ウェルビーイング）」を保障してあげることだと考えています。遊びや社会的なつながりが不足している現代だからこそ、今後も遊育と共育を積極的に推進していきます。

令和6年度山形県青少年健全育成県民大会

大会レポート 10月27日(日)村山市民会館を会場に、約200名の参加者のもと、令和6年度山形県青少年健全育成県民大会が開催されました。「青少年を地域で見守り、育み、支援する」運動の輪を広げていくことを誓う大会宣言をはじめ、青少年育成功労者や「いじめ防止」標語・ポスター作者の表彰などが盛会のうちに終わりました。

青少年育成功労者

手塚秀雄さん(山形市)、秋葉栄法さん(山形市)、設楽信一さん(山形市) 小林正治さん(山形市)、今野昭一さん(山形市)、鈴木康彦さん(山形市) 古澤 修さん(山形市)、土屋 博さん(米沢市)、加藤 真さん(酒田市) 和嶋浩章さん(酒田市)、古田直子さん(酒田市)、齋藤 均さん(酒田市) 菊地元宏さん(寒河江市)、菊地吉彦さん(寒河江市)

最優秀標語作者

清水晴仁さん、千葉琉真さん、内山千咲登さん、青木まこさん

ポスターデザイン最優秀作品作者 野村咲景さん



県内の青少年・若者の活躍を紹介します!!

県では、子育てや福祉、まちづくりなどの社会貢献活動のうち大きな成果を収めているものを、「輝く県民活躍大賞」として顕彰しています。

11月19日、2024輝く県民活躍大賞表彰式が行われました。

・・・ジュニア・ユース部門・・・

○地域開発チーム WATS(新庄市) ○南陽高校市役所部(南陽市) ○ボランティアサークル[nico こえ](天童市)

・・・若者部門・・・

○川西町子ども食堂なかよしキッチン(川西町) ○東北公益文科大学学生団体 Liga 食品ロス削減チーム(酒田市) ○山形大学 SCITA センター学生スタッフ(山形市)

ほかに、一般社会貢献部門で2団体、1個人が受賞しています。



インターネットの安全利用、お子様ともう一度確認を

1,665人 令和5年中、全国でSNSをきっかけに犯罪被害に遭った児童数です。ここ数年、約1,700~2,000人で推移しています。

とても便利で楽しい、スマホやICT機器ですが、その使い方によっては、悪影響があるのも事実。

こども家庭庁の調査(R5年度)では、

・0~9歳でインターネットを利用 74.9%
・高校生のインターネット利用時間 平均約374分

とインターネット利用が拡大するその一方で、

・家庭のルールを決めていると答えた保護者の割合に対して、こども自身の割合がどの年代でも低いという結果が出ています。

もう一度、家族でスマホなどの使い方やルールについて見直しはいかがですか。

こども家庭庁の「ネット・スマホ活用時代の保護者が知っておきたいポイント」を是非参考にしてください。

こちらからダウンロード

